

# メバチ 東部太平洋

Bigeye Tuna, *Thunnus obesus*

## 管理・関係機関

全米熱帯まぐろ類委員会 (IATTC)

## 最近の動き

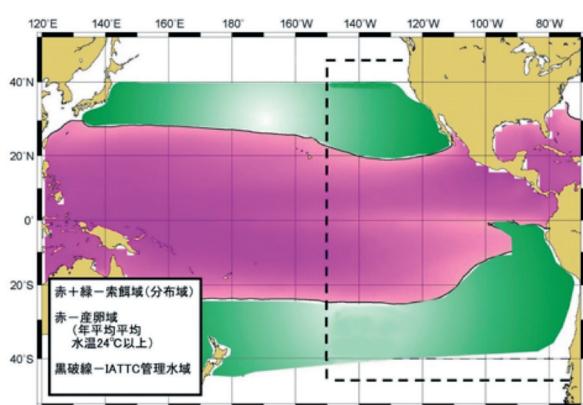
東部太平洋における本種の最新の資源評価は IATTC 事務局により 2015 年に行われ、結果は同年 5 月の科学諮問委員会に報告された。また、同年 7 月の年次会合において、現行の管理措置の継続が合意された。

## 生物学的特性

- 体長・体重：尾叉長 2.0 m・200 kg
- 寿命：10～15 歳
- 成熟開始年齢：3 歳
- 産卵期・産卵場：周年、表面水温 24°C 以上の海域
- 索餌期・索餌場：温帶域
- 食性：魚類、甲殻類、頭足類
- 捕食者：まぐろ・かじき類、さめ類、海産哺乳類

## 利用・用途

刺身や缶詰原料



太平洋におけるメバチの分布域

赤色と緑色を合わせた海域が索餌域（分布域）。赤色が産卵域（年平均表面水温 24°C 以上）。

## 漁業の特徴

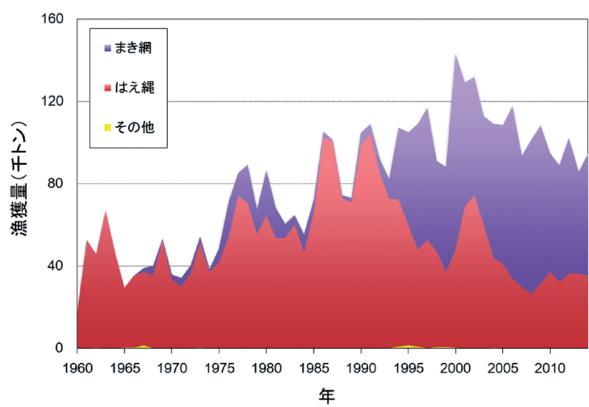
本種は大洋のやや深い水深帯（100～350 m）に分布する魚群を対象とするはえ縄と、表層付近の魚群を対象とするまき網が主要な漁業である。はえ縄は、主として 100 cm 以上の中・大型魚を漁獲しており、まき網は 50 cm を中心に 30～100 cm の小型魚を漁獲する。はえ縄の漁業国は日本、韓国、台湾及び中国等であり、赤道を挟んだ南北 15 度を中心に操業する。まき網漁業国はエクアドル、パナマ、スペイン、メキシコ及びニカラグア等であり、北緯 10 度以南から南緯 20 度間のエクアドル沿岸から西経 130 度付近に広く操業し、ガラパゴス西方の水域が比較的豊かな漁場である。

## 漁獲の動向

漁獲量は、1960 年代以降 2000 年までは増加傾向にあつたが、それ以降減少し、最近は 8 万～10 万トンで推移し、2014 年は 9.4 万トンであった。従来、はえ縄の漁獲量が大部分を占めていたが、1993 年頃より導入された集魚装置 (FAD) を用いた操業により、まき網の漁獲量が急増し、近年はまき網が 7 割を占め、2014 年は 5.9 万トンであった。はえ縄漁獲量は、おもな漁業国である日本、台湾及び韓国とともに減少傾向か横ばい状態であり、2014 年は 3.5 万トンであった。

## 資源状態

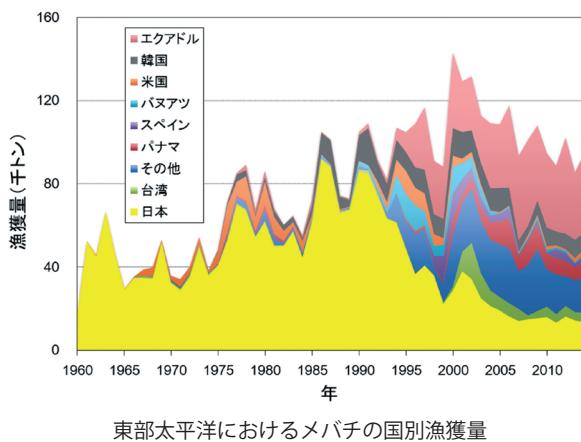
2015 年に IATTC により統合モデル (Stock Synthesis) を用いて資源評価が行われた。産卵資源量は現状（2015 年第一四半期時点）は 11.5 万トンとほぼ MSY レベル（11.3 万トン）にある ( $SSB_{2015}/SSB_{MSY}=1.06$ ) と推定された。総資源量は 44.6 万トンで、近年（2012～2014 年）の漁獲係数は MSY を維持するレベルよりも低いと推定され ( $F_{2012-2014}/F_{MSY}=0.88$ )、最近年（2014 年）の漁獲量は 9.4 万トンと MSY よりも低いことから、過剰漁獲ではない。1975 年以降の経年的な産卵資源量の変動から、最近年は歴史的に低位の産卵資源量であり、横ばいからやや上昇傾向の変動を示しているため、資源水準、動向は低位、横ばいと判断できる。



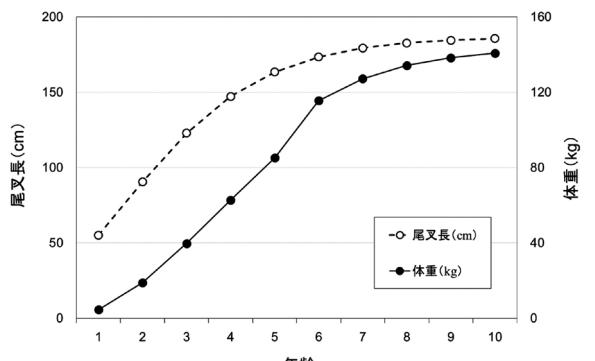
東部太平洋におけるメバチの漁法別漁獲量

管理方策
2015 年 7 月に開催された IATTC 第 89 回会合(年次会合)において、まき網漁業、はえ縄漁業に対する現行のメバチ・キハダ保存管理措置の継続が合意された。措置の概要は、まき網漁業では、7 月 9 日から 9 月 28 日、あるいは 11 月 18 日から翌年 1 月 18 日までの 62 日間の全面禁漁、及び沖合特定区での 1 か月間禁漁、はえ縄漁業では、国別のメバチ漁獲枠の設定(我が国枠は 32,372 トン)である。

資源評価のまとめ
■ 統合モデル (Stock Synthesis) により 2015 年に実施。
■ 産卵資源量は 11.5 万トンでほぼ MSY レベル ( $SSB_{2015}/SSB_{MSY}=1.06$ )。
■ 1975 年以降の産卵資源量変動から、近年は低位、横ばいと判断。
■ 近年の漁獲係数は MSY レベルよりも低い ( $F_{2012-2014}/F_{MSY}=0.88$ )。
■ 最近年 (2014 年) の漁獲量は 9.4 万トンで MSY11.3 万トンより小さく、過剰漁獲でない。

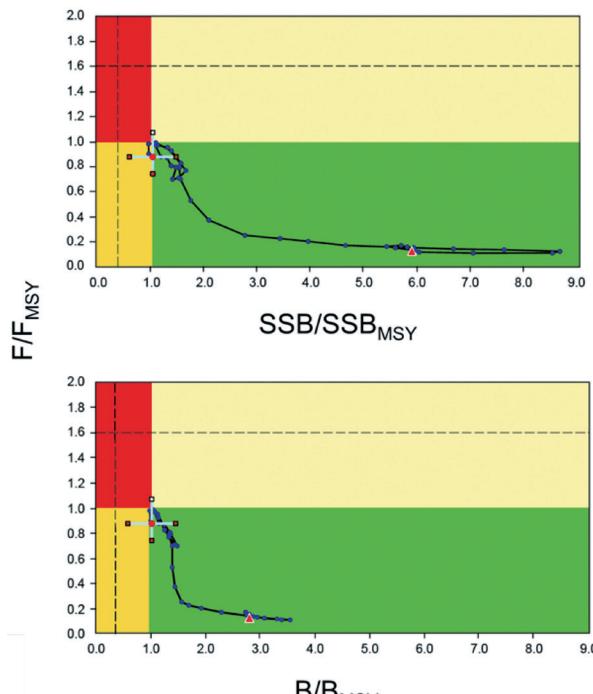


東部太平洋におけるメバチの国別漁獲量



東部太平洋におけるメバチの年齢ごとの尾叉長 (cm) と体重 (kg) の関係

管理方策のまとめ
■ まき網漁業：62 日間の全面禁漁。沖合特定区での 1 か月間禁漁。
■ はえ縄漁業：国別メバチ漁獲枠の設定(我が国枠は 32,372 トン)。



東部太平洋におけるメバチの  $F/F_{MSY}$  と  $S/S_{MSY}$  (上図：産卵親魚量) 及び  $B/B_{MSY}$  (下図：総資源量) の推移  
青いクロスが現状と 95% 信頼限界。赤い▲は解析開始年 (1975 年)。青丸は前後 3 年の平均値で示してある。

メバチ (東部太平洋) の資源の現況 (要約表)	
資源水準	低 位
資源動向	横ばい
世界の漁獲量 (最近 5 年間)	8.6 万～ 10.2 万トン 平均：9.3 万トン (2010～2014 年)
我が国の漁獲量 (最近 5 年間)	1.3 万～ 1.6 万トン 平均：1.5 万トン (2010～2014 年)
最新の資源評価年	2015 年
次回の資源評価年	2016 年